

フィナンシャル・タイムズとインフォシスが戦略的デジタル・コラボレーションを発表、 没入型ジャーナリズムを強化

ロンドン (英国) - 2021 年 12 月 7 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、世界屈指のビジネス・ニュース組織の 1 つフィナンシャル・タイムズ (FT) との戦略的協業を発表しました。FT のデジタル・イノベーション・パートナーとして、インフォシスはデジタル変革を活用し、世界で最も影響力のある意思決定者を含む FT の読者に向けた、最新のクリエイティブで魅力的なデータ主導型ストーリーテリング体験を支援します。

今回の新たなデジタル・イノベーションに向けた協業は、FT が持つ他に例を見ない専門知識やインサイトとインフォシスの領域専門性やテクノロジーの能力を集めて、デジタル・チャネルを通じたクリエイティブで没入型のジャーナリズムの提供を促進するものです。ユーザー体験の強化におけるテクノロジー利用ですでに先行している FT は、最も関心を寄せるストーリーへと読者を近づけるための魅力的なデジタル・テクニクを優先事項としています。2022 年に両社が協働して行うバナー・プロジェクトに、気候変動関連のシミュレーションがあり、これは以前から読者に非常に好評を博しているニュースルーム・イノベーション「The Uber Game」から着想を得たものです。このゲームでは、読者は運転席に座り、Uber のビジネスモデルを直接感じられる体験を得ていました。

また、FT とインフォシスは、FT で最も人気のある伝統的なパズルをデジタル化した「クロスワード・アプリ」を開発し、世界中のファンに提供します。同紙のクロスワードには数十年来の忠実なファンがいますが、今回のパートナーシップを通じて、より広く世界中の人々が魅力的なデジタル形式で初めて利用できるようになります。

戦略的パートナーシップ担当ディレクターの James Lamont 氏は述べています。「読者は FT に最高を求めています。私たちはより広い範囲の読者にストーリーや特集記事を届けるために、既存のデジタルな手法を実験しているところです。インフォシスの強力を得て、私たちはテクノロジーより優れた方法で迅速に利用し、もっと冒険的で目を引くやり方で社説を提供できます。こうしたニュースルーム・プロジェクトにインフォシスが専門知識を提供することは、読者に

喜びと情報をお届けするという FT の使命を支える、イノベーションと読者サービスの精神を醸成することに役立つでしょう。」

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼サービス、ユーティリティ、資源、エネルギー・セグメント担当責任者の Ashiss Kumar Dash は次の点を強調しています。「FT の深く掘り下げたジャーナリズムをインフォシスのデジタル・テクノロジーの力で強化し、エキサイティングな機会をグローバルニュースの読者に提供します。これはニュース配信の新しいスタンダードになる可能性を持っています。一貫して世界で最も象徴的であり、信頼性と影響力のあるニュース・ブランドのデジタル・イノベーション・パートナーになることを喜んでおります。ワクワクするような新しいテクノロジー・ソリューションを提供できることを楽しみにしております。

フィナンシャル・タイムズについて

フィナンシャル・タイムズは、世界最大のビジネス・ニュース組織の 1 つであり、その権威、品位、正確さは国際的に知られています。FT の有料読者は 100 万人を記録し、その 4 分の 3 はデジタル購読です。FT は、グローバル・ビジネスのコミュニティに幅広い情報、ニュース、サービスを提供する株式会社日本経済新聞社の傘下企業です。

Infosys Ltd. について

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経

費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング担当 安藤 mktg_jp@infosys.com